

金沢動物園で絶滅危惧種 「アマミトゲネズミ」の展示を開始します

金沢動物園では、(公社)日本動物園水族館協会(JAZA)と環境省が締結した「生物多様性保全の推進に関する基本協定書」に基づき、平成29年から開始された「トゲネズミ類生息域外保全実施計画(※)」に参画し、令和3年より、国内希少野生動植物種及び国の天然記念物に指定されている絶滅危惧種「アマミトゲネズミ」の飼育及び飼育下での繁殖を行ってきました。

これまでアマミトゲネズミは非公開で飼育されていましたが、飼育繁殖技術の確立に一定の目途が立ったことから、令和6年から国内飼育園館での一般公開が開始されています。この度、金沢動物園でも多くの方々にアマミトゲネズミの存在や奄美大島の生物の多様性とその現状を知っていただくきっかけとするため、4月24日(木)から一般公開を開始します。展示時間は、ホームページ等でお知らせします。

※「トゲネズミ類生息域外保全実施計画」

絶滅のおそれのある日本固有のトゲネズミ類を保全することを目的とし、オキナワトゲネズミやクノシマトゲネズミに先行して、トゲネズミ3種のうち野生個体数が比較的安定しているアマミトゲネズミについて、飼育・繁殖技術を確立するための生息域外保全に取り組むものです。



アマミトゲネズミ



アマミトゲネズミ公開展示部屋



アマミトゲネズミ展示舎外観と説明看板

金沢動物園



横浜市SDGs認証制度



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会



GREEN×EXPO 2027を
応援しています

お問合せ先

金沢動物園 園長 長倉 かすみ TEL045-783-9100

【参考資料】

1 アマミトゲネズミについて

和名	アマミトゲネズミ
英名	Amami Spiny Rat
学名	<i>Tokudaia osimensis</i>
分類	げっ歯目 ネズミ科
分布	奄美大島
特徴	背中を覆う硬いトゲ状の毛が名前の由来になっています。夜行性で森林に生息し、昆虫類や木の実を食べます。トゲネズミ類は世界で3種（アマミトゲネズミ、トクノシマトゲネズミ、オキナワトゲネズミ）が確認されており、いずれも日本固有種です。アマミトゲネズミは絶滅危惧ⅠB類（環境省レッドリスト）に指定されており、生息環境の変化や外来生物（マングース、ノネコなど）の影響により生息数が減少していましたが、近年はマングース防除等の対策の結果、分布域、個体数共に増加傾向が確認され始めています。
国内飼育施設数	8施設 83頭（オス40、メス43）（令和6年度時点）
当園飼育頭数	12頭（オス5頭、メス7頭）

* JAZAと環境省の協定に基づいて飼育しているのは7園館となりますが、宮崎大学フロンティア科学総合研究センターも協力して、飼育・繁殖に取り組んでいます。

2 金沢動物園について

- ◆入園料：一般 500 円、高校生・中人 300 円、小・中学生 200 円、小学生未満無料
（毎週土曜日高校生以下無料）
※よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18 歳以上 2,000 円
- ◆開園時間：9:30～16:30（入園は 16:00 まで）
- ◆休園日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、※5月は無休
- ◆交通：京浜急行「金沢文庫」駅下車、西口バス乗場でバスに乗車
①「野村住宅センター」行きバス「夏山坂上」下車徒歩6分
②急行「金沢動物園」行きバスで10分（土・日・祝のみ）
- ◆URL：<https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/kanazawa/>
- ◆住所：横浜市金沢区釜利谷東 5-15-1
- ◆問合せ先：045-783-9100